

みずほCustomer Desk Report 2023/01/19 号 (As of 2023/01/18)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	128.89
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	128.31	1.0788	138.39	1.2275	0.6992
SYD-NY High	131.58	1.0887	141.68	1.2435	0.7063
SYD-NY Low	127.57	1.0767	138.35	1.2254	0.6936
NY 5:00 PM	128.94	1.0795	139.13	1.2349	0.6941
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,296.96	▲ 613.89	日本2年債	0.0050%	▲0.0350%
NASDAQ	10,957.01	▲ 138.10	日本10年債	0.4100%	▲0.0900%
S&P	3,928.86	▲ 62.11	米国2年債	4.0836%	▲0.1201%
日経平均	26,791.12	652.44	米国5年債	3.4377%	▲0.1807%
TOPIX	1,934.93	32.04	米国10年債	3.3725%	▲0.1760%
シカゴ日経先物	26,515.00	190.00	独10年債	2.0090%	▲0.0730%
ロンドンFT	7,830.70	▲ 20.33	英10年債	3.3130%	▲0.0075%
DAX	15,181.80	▲ 5.27	豪10年債	3.5640%	▲0.0480%
ハンセン指数	21,678.00	100.36	USDJPY 1M Vol	13.26%	▲2.70%
上海総合	3,224.41	0.16	USDJPY 3M Vol	12.83%	▲0.82%
NY金	1,907.00	▲ 2.90	USDJPY 6M Vol	12.18%	▲0.37%
WTI	79.48	▲ 0.70	USDJPY 1M 25RR	▲1.16%	Yen Call Over
CRB指数	276.13	▲ 1.09	EURJPY 3M Vol	12.28%	▲0.73%
ドルインデックス	102.36	▲ 0.03	EURJPY 6M Vol	11.90%	▲0.33%

東京	東京時間のドル円は128.31レベルでオープン。日銀会合を前にドル買い優勢となり仲値に向けて128円後半まで上昇。正午前には、日銀からイールドカーブコントロール(YCC)政策を軸とした金融緩和策の維持が公表されると、日本国債10年の利回り低下・円安で反応、ドル円は130円半ばまで急上昇。その後も、円売りの流れは変わらず、一時131.58をつけた。終盤にかけては、やや値を戻し130.85レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は130.85レベルでオープン。日銀会合後の円安の動きが過度に進んだという見方から、円の買い戻しが優勢。131.23まで値を切り上げた後は流れが一転し、一本調子で129円台まで反落。129.10レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では、日銀金融政策決定会合で金融政策維持が発表され、事前に期待されていたイールドカーブコントロールの変更や利上げの姿勢も示されなかったことから、緩和的な姿勢継続との見方に一気に円が売り戻され131.58まで戻すが、その後は円の売られ過ぎ感から反落し、129.10レベルでNYオープン。朝方は米12月PPIが先週のCPI同様に予想を下回り、米金利が低下する展開にドル売りが優勢となり、127.57まで下落する。しかしその後は株安を受けドルが買い戻される展開に128.64まで戻す。午後は、128.95まで戻すが、ペーパバックも特にサプライズもなく、128.80付近での推移が続き、128.94レベルでクローズした。一方、ユーロドルは日銀結果発表後に一旦1.0768まで下落するが、その後はドル円が下落する展開に1.0872まで戻し、1.0824レベルでNYオープン。朝方は米小売売上高、PPI結果を受けたドル売りに、1月16日の直近の高値である1.0874を抜け、1.0887まで上昇するが、株安を受けたドルの買い戻しに1.0790まで反落する。午後は、狭いレンジでの推移が続き、1.0795レベルでクローズした。

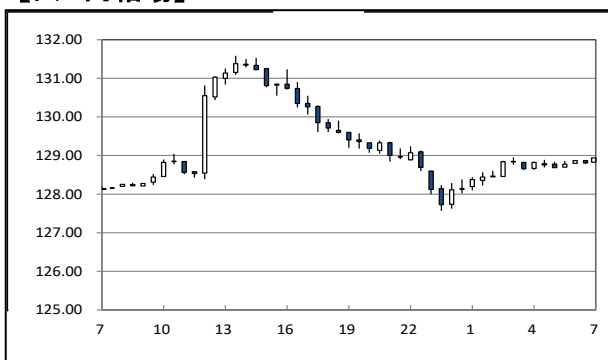
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月18日	-	日 日銀 金融政策決定会合	1月	10年国債の許容変動幅を±0.5%に据置
	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	12月	0.4%/10.5% 0.3%/10.5%
	16:00	英 CPIコア(前年比)	12月	6.3% 6.2%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	12月	-0.4%/9.2% -0.3%/9.2%
	19:00	欧 コアCPI・確報	12月	5.2% 5.2%
	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	12月	-1.1% -0.9%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	12月	-1.1% -0.5%
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	12月	-0.5%/6.2% -0.1%/6.8%

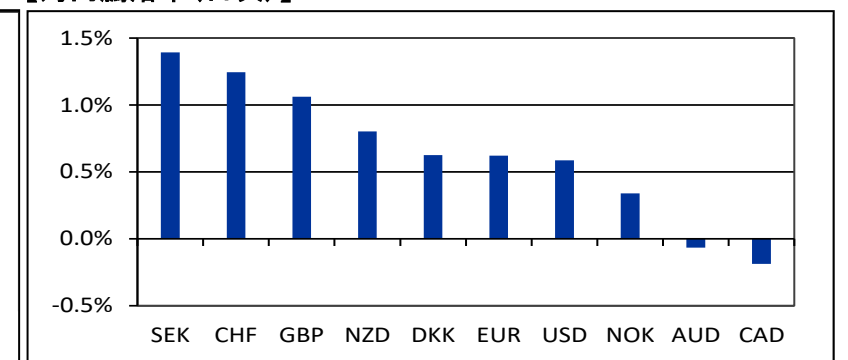
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月19日	22:30	米 住宅着工件数	12月 1358k	1427k
	22:30	米 建設許可件数	12月 1365k	1351k
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況	1月 -11.0	-13.7
	22:30	米 新規失業保険申請件数	14-Jan 214k	205k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	127.00-130.50	1.0700-1.0900	137.00-141.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は、急伸後に急落する展開となった。東京時間128.31でオープンし、日銀会合を前にドル買い優勢となり仲値に向けて128円後半まで上昇。正午前には、日銀からYCC政策を軸とした金融緩和策の維持が公表されると、長期金利低下・円安で反応、ドル円は130円半ばまで急上昇。ロンドン時間では一時129円台まで反落する場面が見られたが、再び円売りが活発となると、一気に131.58まで急上昇。その後は円の売られ過ぎ感から反落129円近辺まで急反落。NY時間では、米12月PPIは先週のCPI同様に予想を下回り、米金利が低下する展開にドル売りが優勢となり、127.57まで下落し、結局128.90でクローズした。

本日のドル円は方向性を探る展開となろう。日銀による政策変更がされなかったことを受けて円安が進行したものの、その後米国においてはインフレのピークアウトを示す指標が相次いで発表されており、ドル買い・円買いが拮抗。本日はポジション調整を中心とした値動きにより、ドル円は128円台を中心に方向性を探る展開となろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小林・逸見